

昭和45年度 和歌山県文化賞

わし やま だいざぶろう
鷺 山 第三郎

住 所：東京都大田区

出 身 地：和歌山県新宮市

生 年：明治26年

なっている。

◎業績及び経歴

新宮中学校卒業後、大正8年明治学院高等部英文科を経て神学科を卒業。同学院教員となりシェークスピア研究に取り組み研鑽を重ねた。昭和2年教授となり、昭和4年カリフォルニア大学に留学、サンフランシスコ神学校を経てシェークスピアに関する論文でM・Aの学位を得、昭和6年帰朝後も同院教授として活躍されたが、その後室蘭工業大学教授、同教養学部長を経て札幌市の北星学園大学文学部長、更に学長となる。その後昭和43年からは東京に在住して従前からのシェークスピア研究に没頭、現在もなおブrowningの研究を続けられている。

大正12年、従来の研究にもとづいて発刊した「シェークスピア悲劇の研究」には坪内逍遙の異例の長文で激賞した序文が掲げられた程で非常な反響を呼び、我が国の本格的なシェークスピア研究の嚆矢として卓絶した業績を挙げ、その後も「シェークスピア物語」「自然詩人ワーズワース」「プラントの宗教思想」「悲劇と神の問題」などその他数々の著作でその研鑽の成果を発表するなど、ひたすら英文学の研究活動を続けられている。

また、かつて明治学院教授時代に新宮市公民館で講演されたのを始めとして、紀南方面で夏期大学等を含めて再々熱心に講演され、青少年の感化、啓蒙指導に多大の貢献をされるとともに一般にも深い感銘を与えた。幼児より貧苦を乗り越えて向学の志を絶たず、苦学力行を続けて不滅の業績を挙げられ、今なお研究に余生を捧げられている姿は故郷の人々の誇りとするところで、敬愛の的と